

「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

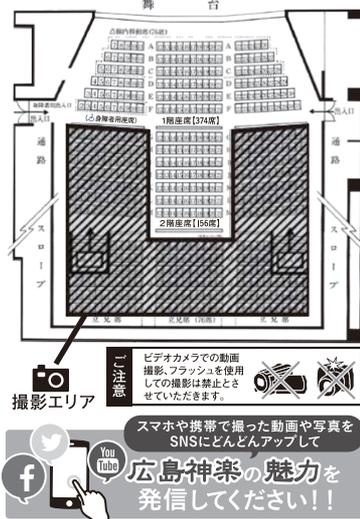
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について

→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



8月16日のタイムスケジュール

出演：綾西神楽團（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『五條の大橋』

（およそ40分）

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『悪狐伝』

（およそ40分）

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。

本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

あやししかぐらだん

綾西神楽團プロフィール ～広島市安佐北区～

綾西神楽團は昭和56年、地元の若者十数名により「綾西神楽同好会」として発足しました。

結成時、神楽経験者は誰もいない、衣装も道具もない状態でしたが、地元住民の厚意で寄付を頂き、中古衣装、道具一式などを揃えていただくとともに、当時、神楽団を結成し活動されていた二名を指導者に招き、スタートしました。

その後、地区の高校生が集まり、団員も増え名称を「綾西神楽團」と改め、「神楽を楽しみ、見る人に感動を与える神楽団」を目指し、活動を続けております。

新・旧両舞に独自の演出を加え、各地の神社例祭、各種イベント、老健施設などに慰問し活動しています。

練習は週3日、自分たちの神楽確立のため、日々精進しています。

第一幕『五條の大橋』（ごじょうのおおはし）

平安時代、月が美しい晩のこと、豪放きわまる弁慶が、京の五条の大橋で、向こうから風流な笛を吹いて来る凛々しい稚児・遮那王（しゃなおう）の腰に帯びた太刀を気に入り、それを我が物にしようと戦いを挑みます。

遮那王は弁慶が薙刀をもって攻めても、それをものともせず右に左に飛び交わし、とうとう弁慶は力尽きて降参してしまいます。その時遮那王は11歳の幼少。弁慶は並外れた大男。遮那王は鞍馬山で鬼一法眼より兵法を授かり守護され、後に源義経と改名し、弁慶は生涯忠誠を尽くし、校正にその名を残したという物語です。

【出演】

大太鼓 … 尾崎 雄也	遮那王 … 尾崎 雄二
小太鼓 … 若林 洋子	武蔵坊弁慶 … 若林 祐紀
手打鉦 … 空岡 範行	鬼一法眼 … 若林 弘志
笛 … 佐々木 もも子	

第二幕『悪狐伝』（あっこでん）

平安時代の中頃、美しき女人・玉藻前（たまものまえ）が鳥羽天皇に仕え、寵愛（ちょうあい）を受けはじめると、天皇の深い信頼が重なり始めます。不信を感じた陰陽師・安部泰親が占うと、玉藻前は姪酒によって王を誘惑し、悪の限りを尽くして中国から飛来した金毛九尾の狐の化身であることが判ります。正体を見破られた妖狐は、下野（しもつけ）の国・那須乃ヶ原（なすのがはら）に逃れます。そこで狐は様々な姿に身を変え、悪行を重ね里人を苦しめました。

再び美しき女人を装うと、狐は迷い人となって女人禁制の十念寺に現れ、和尚・珍斉（ちんさい）をとり喰らいます。その後、悪狐退治の勅命を受けた弓の名人・三浦介（みうらのすけ）と上総介（かづさのすけ）によって退治されるという物語です。

【出演】

大太鼓 … 尾崎 雄也	三浦之介 … 尾崎 雄二	玉藻前 … 若林 弘志
小太鼓 … 若林 洋子	上総之介 … 松村 厚志	金毛白面九尾之狐 … 若林 祐紀
手打鉦 … 空岡 範行	珍 斉 … 若林 祐紀	
笛 … 佐々木 もも子		